

加賀原地域ケアプラザエリア

横浜市加賀原地域ケアプラザでは、各地区社会福祉協議会や自治会町内会の行事、老人会、民生委員児童委員協議会のサロン、子育て支援の場等の身近な場所で地域の皆さまと直接お会いし、お話を伺うことを大切にしています。その中で伺ったお話から、今年度は各地区の公園での体操や健康測定会、エンディングノート講座の開催に発展しました。また、『自立支援協議会による民生委員児童委員協議会定例会での講座開催』、『多世代交流サロンでの障害者支援機関の紹介』のような、ネットワークづくりや交流の機会をつくりました。

今後も障害のある方の持っている力を地域に向けて発揮できる場を広げ、障害のあるなしに関わらず、誰もが暮らしやすい地域を目指して様々な活動を支援していきます。

多世代交流・孤立予防

子育て支援センターポポラとのコラボ

「365歩のマーチ体操・サンサン体操」

長期間の自粛生活による、筋力低下などのフレイル状態やうつ状態・孤立を予防するため、各地区の公園でオリジナル体操を実施しました。

川和地区、佐江戸加賀原地区、池辺地区のそれぞれの公園を借り、自治会町内会、老人会、民生委員児童委員協議会の皆さまに協力していただき周知しました。

池辺地区にある都筑区子育て支援センターポポラサテライト（ららぽーと横浜内）とコラボしたことで、子ども連れの親子の参加にもつながり、多世代交流もできました。



下藪根公園での体操の様子

コロナ禍の地域活動再開に向けた支援 「健康測定会」

老人会会長より、「コロナ禍で老人会のサロン活動が止まっている。地域住民同士のつながりが途絶えないようにしたい」という相談を受けたことをきっかけに健康測定会を実施しました。

企画段階から老人会会長や役員の皆さまと「感染対策や密にならないように開催する方法」を一緒に考えたことで、今後の老人会の活動にもつながりました。

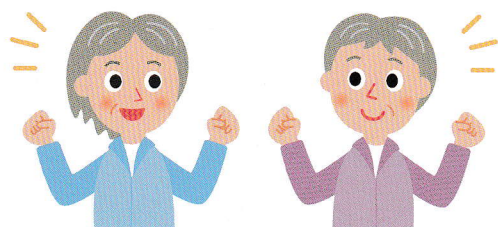
また、ケアプラザの協力医をはじめ、民生委員、保健活動推進員の皆さまの協力により、地域の方向士の交流の機会となりました。



保健師による青空説明会



上藪根寿会（老人会）での健康測定会



市民利用施設、障害事業所との連携 「お絵描きワークショップ」

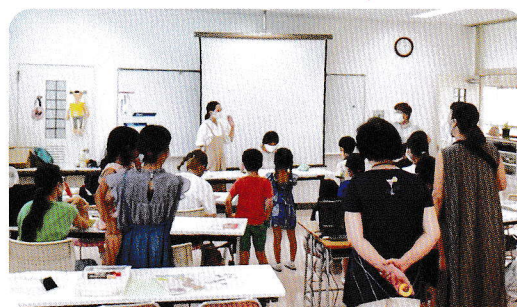
「絵を描くのが苦手な子どもでも、皆で楽しく描いてみよう」というコンセプトで企画し、川和地区の川和小学校コミュニティハウスや池辺地区の都田小学校コミュニティハウスと一緒に、夏休みの小学生向けワークショップを開催しました。

講師は障害者生活介護施設『カブカブ川和』に通う方で、絵を描く子どもたちに声掛けをしながら優しく見守っていました。布に描いた絵は、ボランティアの方がミシンで縫いマスコットにしました。

コミュニティハウスと一緒に活動することで、普段ケアプラザとの接点を持ちにくい子育て世代の方が地域ケアプラザを知る良い機会となりました。



ミシンで縫うマスコット



講師によるワークショップの様子



地域の企業と協働 「スマホ講座」

スマホ講座開催のきっかけは、地域の方の「スマートフォン（スマホ）は、難しくて使うことができない」との声からでした。ケアプラザから佐江戸加賀原地区にある京セラ株式会社に講師の依頼を働きかけたところ、地域貢献として積極的に協力いただけることになり、基本的な操作から学べる「スマホ講座」がスタートしました。

講座は毎回大人気で、コロナ禍でありながらも今年で3年目となり、地域の高齢の方々にスマホの利用がどんどん広がってきています。また、新たな活動として、地域の皆さまによる自主的なスマホサークルの立ち上げもあり、さまざまな支援を行っています。スマホでつながることを通して、地域の皆さま同士のコミュニティができつつあります。



スマホを使いながらの学ぶ講座の様子



お問い合わせ先

加賀原地域ケアプラザ

【住所】都筑区加賀原1-22-32

【電話】045-944-4640(代表) 【FAX】045-944-4642

【ホームページ】<https://www.nakagawa-tokushokai.com/main/office/kagahara.html>

